

「学生時代と現在」

私は昭和16年、広島県呉市（合併前は豊田郡安浦町）で生まれました。高等学校は忠海高校で、呉線で約1時間かけて通い、瀬戸内に面した風光明媚な学校でした。

大先輩には、故池田勇人首相、平山郁夫画伯を輩出し、講堂には【温故知新】と池田首相の直筆の書が掲げてあったのを思い出します。

大学受験時、友人が東京の私大を数校受験する話があり、一緒に受験しました。受験結果後、先生に相談したら、明大の商学部が良いのではとのことで、入学したのがいきさつです。

1～2年生の時は、井の頭線、富士見ヶ丘から和泉校舎に通いました。この時は友人も出来ず、苦勞しましたが、多少は勉強もしました。

3年生の時に三鷹に移り、お茶の水に通いました。当時は校門を抜ければ、麻雀やが軒を並べ、よく通ったものでした。お蔭で、多くの麻雀仲間が出来ました。麻雀は戦術、戦略によく、又、指を使う為、脳の活性化に繋がると言われたものでした。

札幌や福島県喜多方市の友人もいたこともあり、当時五千円で時間をかけ、北海道や東北を周遊しました。福島で初めて見たリンゴの木には感動したものでした。思えば、よく遊べ、よく遊べの学生時代でした。

結婚して、寝屋川の社宅に住んでいましたが、縁あって奈良県に居を構え、校友会に入会して7年が経ちました。

まさに、人生（学校、結婚、友人・・・）縁と偶然の繋がりと思います。

卒業して50年。

現在スポーツジムに通い、筋トレに励んでいます。1年でも、2年でも長く校友会の出席に、又旅行や、ゴルフが出来るように頑張りたいと思っています。

明治大学校友会奈良県支部

昭和39年商学部卒業

枅川 昌一